

平成 23 年 4 月 21 日
組織行動分科会 加藤

組織行動分科会議事録

日 時：平成 23 年 4 月 21 日（日）14:00 ～ 17:00

場 所：テクノ菱和 港営業所

参加者：石橋 明、宇於崎 裕美、大橋 光三、尾崎 忠義、加藤 豊、酒井 雄二、
高橋 祐一郎、田辺 和光、中村 弘

要 旨：本日は、次の内容について議論を行った。

議 題

- 1、 合宿について
- 2、 江戸川大学公開講座について
- 3、 東日本大震災に関して
- 4、 その他

「討議・検討内容」

1、合宿に関して

- 開催日時：5月28日（土）～ 5月29日（日）とする。
- 開催時間：集合 熱海駅改札口 （昼食をしてから集合）13:00
タクシー乗合にて合宿会場に向かう。

解散 29日 12:00

※合宿の討議時間：会議室の使用

5月28日（土）13:30～5月29日（日）12:00

解散後 熱海の近辺の視察または見学を検討する。

MOA 美術館等の案が出された。

- 場所：あたま小嵐荘
- 参加者：石橋、近藤、川路、牧野、茂木、中田、大橋、河東、宇於崎、
酒井、中村、尾崎、田辺、高橋、加藤、
計 15 名

不参加：濱田、安孫子

未表明：柴田、坂入、

- 合宿の議論内容 → 統一テーマ「組織行動の観点から」
 - ・各人の持っているテーマをもとに議論、全員が行う
(東日本大震災に関して、あるいは自己紹介でも OK)

- 一人の持ち時間 15 分（パワーポイントで説明、質問議論含む）
- ・外でできない内容をテーマに。（戦争等）
 - 15 分の発表とは別
- ・29 日は、前日の議論からの全体的な内容を中心に議論してはどうかとの意見があった。

- ① 石橋・「複雑巨大システムと自然災害」
- ② 川路・「医療と戦争」
- ③ 宇於崎・「災害広報と社会不安」
- ④ 加藤・「建築基準法と現実社会でのギャップ」
- ⑤ 大橋・「CRM の視点を入れた内部監査」
CRM と NPS（トヨタ生産方式）
- ⑥ 中村・「福島第一原発事故」
一技術者として考えること一
- ⑦ 尾崎・「原発安全性の正当化について」
以上の説明がなされた。

2、 江戸川大学公開講座について

- ① 東日本大震災関連：延期 3 コマの講演の対応（3 月の継続議案）
今年 10 月以降に、残り 3 コマのみの公開講座を実施する。日程については、後日江戸川大学の濱田教授に確認する。
- ② 来春の講座テーマ候補検討
メールで下記「東日本大震災関連」の案が出された。
 - ・「原発を進める原子カムラ社会の大罪」 【学会+電力会社+行政】
 - ・「海水投入のタイミングを VTA で検証する」 【東電】
 - ・「官邸の CRM はなぜ機能しなかったか」 【民主党政権】
 - ・「輪番停電は何をもたらしたか」 【経産省+東電+マスコミ報道】
 - ・「原発海外援助を受け入れられない日本の宿痼」 【官僚組織】
 - ・「災害広報と社会不安」 【横断的広報体制】
 - ・「マスコミ報道は正しかったか」 【ジャーナリズム】
 - ・「設計実務技術者と施工実務管理者と管理者」

3、 東日本大震災に関して

- 石橋分科会長より、「東日本大震災の爪跡」に関する説明がパワーポイントで（110 頁）なされた。
各種データをもとに議論された。

4、 その他

・ 今後の分科会日程

次回定例会 5月28日(土)～29日(日)

合宿あたま小嵐荘

テクノ菱和 港営業所にて

定例会

6月26日(日) 14:00

7月30日(土) 14:00

8月21日(日) 14:00

9月25日(日) 14:00

10月16日(日) 14:00

11月27日(日) 14:00

12月18日(日) 14:00 忘年会

失敗体験 NW 7月24日(大阪夏の大会)

7月25日(浜岡原発見学会) 予定

・ 図書紹介

① 原子炉時限爆弾

大地震におびえる日本列島

広瀬隆 ダイヤモンド社 1500円+税

② 津波災害

災害社会を築く

河田恵昭 岩波新書 720円+税

③ 重大事件に学ぶ

「危機管理」

佐々淳行 文春文庫 505円+税

④ 関東大震災

大地震で何が起きたか?

吉村昭 文春文庫 543円+税

⑤ 人は皆「自分だけ死なない」と思っている

山村武彦 宝島社 1200円+税

⑥ 地震の日本史

大地は何を語るか

寒川旭 中公新書 800円+税

以上